

家族支援の実践実技講座

家族や地域における問題解決力の低下が懸念されています。そこで、本講座では、家族成員間での問題解決力を高める支援の理論と技術についての学習の機会を提供します。家族の問題解決力を高める支援は、医療、福祉、保健、教育、司法分野など、幅広い分野で不可欠です。本講座で学ぶ理論は、家族に限らず、小集団に対しても適用可能な理論です。講座の内容は、理論的学習と体験的学習とを組み合わせることで、より実践に生かせるよう構成します。

日 時	① 7 月 8 日 ② 7 月 1 5 日 ③ 7 月 2 2 日 ④ 7 月 2 9 日 日曜日 10:00~16:00
会 場	(第1・2回) 三原キャンパス 三原市学園町1番1号 (第3・4回) 広島キャンパス 広島市南区宇品東1丁目1番71号
講 師	県立広島大学 保健福祉学部 人間福祉学科 准教授 大下由美
対 象	家族臨床に携わっておられる対人支援の専門家
定 員	10名
受 講 料	8,200円 (1会場のみ受講を希望される方は6,200円)
申込締切	平成30年6月20日(水) 必着
申込方法	下記のQRコード又は本学ホームページのURL上「申込フォーム」に入力してください。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=177 申込締切日以降にメールで受講案内と振込案内を送付します。 また、従来どおり郵送でのお申込みも可能です。 【郵送】公開講座申込書(別紙)をご記入いただき、返信用封筒※を同封のうえ、下記へ送付してください。宛先は、公開講座「家族支援の実践実技講座」係り。 ※返信用封筒(長形3号:横120mm×縦235mm)に82円切手貼付。
主催 問合せ先	県立広島大学 三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電 話 : 0848-60-1200 (平日 9:00-12:00/13:00-17:00) メール : mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp



内 容	1 家族支援のための基礎理論
	家族の問題は、家族構成員間のコミュニケーション過程で構成されると捉える、生成的システムズ理論を学びます。この理論で家族の問題を捉えると、その解決法は、日常のコミュニケーション過程での微細な差異の生成になります。従来の問題の原因の究明とその除去を目指す方法ではなく、解決探求型の支援の基礎理論を学びます。
	2 家族支援のための技法論
	1 回目の基礎理論の復習を行います。その上で、代表的な家族システムの問題を取り上げ、具体的な評定方法と変容計画について、体験的に学びます。また、支援過程で微細な差異を作る専門技法について、その理論と実際の使用方法を、従来の質問法との違いを意識しながら、理解を深めます。
	3 家族支援の変容論と実践
対人関係をシステムで捉える視点の復習に加え、仮想事例での家族システム内で生じている悪循環過程を変容していくための理論とその変容法を、受講者の実践とリンクさせて学習を行います。グループ毎に、実際に問題の評定、介入計画について議論し、受講者は支援過程を実演し、悪循環過程を変容する循環的質問法の使用法を体験的に学習します。	
4 家族支援の実際とまとめ	
1 回目～3 回目までの内容の総復習を行います。特に質問法の使用の実際について、体験的学習を行います。受講者の方の実践事例、または仮想事例を用いて、受講者の方に変容計画の立案、そしてその計画に基づく循環的質問法を用いた面接のロールプレイを実施してもらい、理論と実践の統合的理解を深めます。	
備 考	4 回連続して講座を受講されることを推奨します。どちらかのキャンパス日程のみの参加も可能です。講座内容を変更していますので、再受講も可能です。講座修了者で希望者には継続研修の機会も提供します。

----- 切り取り線 -----

公開講座「家族支援の実践実技講座」申込書

名前（ふりがな）	
受講案内送付先	〒
電 話	() — 日中の連絡先：
E-mail	
所属先及び職種	
受講希望会場	両キャンパス ・ 広島 C のみ ・ 三原 C のみ
修了証交付	交付希望 ・ 不要

